近畿大学連続セミナー

ケア空間の設計手法

主催　近畿大建築学部 居住福祉研究室

この度「ケア空間の設計手法―地域にひらく　子ども・高齢者・障がい者福祉施設」刊行の機会に連続セミナーを開催します。
本書は日本建築学会福祉施設小委員会が主体となり企画執筆した書籍です。
セミナーでは毎回、「ケア空間」に関わる研究者と設計者がクロストークを行います。
研究と設計、2つの視点から一つの事例について語り合う事で、
新しいケア空間のあり方を考えていきます。

第１回

土用下 淳也（株式会社kyma 代表）× 松原茂樹（大阪大学 准教授）

「ケア空間をごちゃまぜから考える」

１０月５日（木）１８：３０～

第２回

井上 康（健康設計 代表）× 山口健太郎（近畿大学 教授）

「これからの特別養護老人ホームのデザイン」

１０月１９日（木）１８：３０～

第３回

八木 稔文（わくわくデザイン代表）× 藤田大輔（福井工大 准教授）

「アクティビティを誘発する空間のつくり方」

１０月２６日（木）１８：３０～２０：００

参加費：無料（定員300名　先着順）
参加方法：下記のリンクをクリックしてZoomにアクセスしてください。
講演中はマイクとビデオをオフにしてください。
https://testkindai.zoom.us/j/93095060380　　ミーティングID：930 9506 0380　　パスコード：425052